

## 連載

## 社会教育施設について考える (WG 報告)

## ～第 1 回：活動の概要紹介・東日本データ編～

福澄孝博 (北大院・工／生涯学習施設支援 WG 代表)、生涯学習施設支援 WG

## 1. はじめに

天文教育普及研究会のワーキンググループ (以下、WG) の 1 つである「生涯学習施設支援WG」は、いよいよ 3 年目、取り纏めの年度へと突入した。直接的には、杉並区立科学館が廃止されそうだ、という動きを受けて発足した本 WG だが、個別の施設に対する支援をするのではなく、「施設を支援しようと活動する人びとに対し、裏付けとなるような情報を提供する」という、いわば俯瞰的立場からの支援活動を基本方針とし[1]作業にあたってきた。これまでも、昨年度第 29 回天文教育研究会において、福澄が招待講演として概要を報告した[2]が、その内容をより詳しく紹介し、また、あわせてその後の結果までもも付け加えるのが、本連載記事である。

## 2. WG 活動の概要

我われの活動は大きく○施設変遷の流れ調査○各施設個別の記録 (支援活動資料・巧く行っている要因) ○休止廃止に伴う各データの収集の 3 つからなる。

## 2.1 施設変遷の流れ調査

WG 活動の基礎となるデータを得るべく、まずは施設の変遷の歴史を調べることから始めた。具体的には 2009 年世界天文年に際して作成された施設一覧・PAONavi の施設一覧・プラネタリウム白書・プラネタリウムデータブック等に記載の情報と、主にインターネットを用いて調べた現状とを比較し、廃止、休止、指定管理者制度等の導入を中心に調べた。地域ごとに何人かで手分けして分析調査を行ったため、担当した者により実際に用い

たデータは微妙に異なる。その詳細も含め各おのについては、後に各論で報告する。

実際に調査して感じたのは、「情報は次々と変化する」ということだ。この種のデータはある程度割り切って、〇〇時点のもの、と示すに留めるべきであり、その代わり「広く浅く」チェックしよう、ということになった。

## 2.2 各施設個別の記録

一方で、「狭く・深く」記録を残そう、と考えているのが、いくつかの施設を取り上げての個別情報である。これまでに行われた「支援活動」の具体例につき、当事者に丁寧に取材し、資料等が散逸して分からなくなってしまう前にきちんと収集・保存・記録しようと活動中だ。また、WG でミーティングを重ねるうち、「逆に巧く回転している施設につき、その要因・コツを取材して記録するのも肝要では」ということになった。こちらについても鋭意遂行中である (問い合わせが届いた施設の方は、是非、ご協力お願い致します)。

これらは、まさに、昨年度天教大会での福澄の講演[2]に肉付けするイメージで、あの時には十分話せなかったこと・書き切れなかったことに最新の調査研究も加えて、この連載記事の中で皆さんに詳しくご紹介できることであろう。

## 2.3 休止廃止に伴う各データの収集

実際の調査活動の中で、新たに必要であると浮かび上がってきたのが、本項目である。即ち、当該施設に関する条例・実際に議会に掛かった時の議事録・その他情報の裏付けとなる URI 等の収集に加え、これまでにあるい

は今後廃止になってしまった施設のその後、代替事業がどう行われているか(公約通り遂行されているか)の実態調査、である。また、実際に集めてみると議事録では「あっさりし過ぎている」ため、その前段階、委員会での議事録やビデオなどが必要となることも分かってきた。本調査は(既にいくつか、着手済みではあるものの)今年度WGの活動目標であり、この結果についても本連載記事の中で随時皆さんに報告していきたい。

常に言っている事であるが、我われは施設の廃止等に「やみくもに」反対しているわけではない。例えば、その分の予算が福祉などに回され住民が幸せになるなら、筆者としてはむしろ歓迎したいほどだ。我われの情報発信・支援活動が「施設関係者の単なるエゴ」と陥ってしまわないためにも、これらの情報までもきちんと気を配ることが大切であろう。

### 3. データ分析—東日本編—

さて、早速各論に入る。今回は 2. 1 変遷の流れ調査の内、東日本のデータにつき結果を報告する。調査は塚田・齋藤と福澄により行われた。その作業手順は以下の通りである。

1) プラネタリウムデータブック(2012年日本プラネタリウム協議会発行:2010年時点でのアンケート調査結果)を基に施設のリストを作成、2) 各施設につき、インターネット等を用いて現在の状況をチェック、3) それぞれの都道府県ごとに①2010年次、既に廃止・休止されていた施設(表中『既に』:%表示、以下同)、②データブックには掲載されていない新規オープン施設(『新規』)、③データブックでは直営となっており現在は指定管理者制度を導入している施設(『指定』)、④これまでに閉館(2010年前後に関わらず)したが、移設・リニューアル等をして現在も存続している施設(『存続』)、⑤ネット上等で休止になっていた施設(『休止』)に分けて集計、4)

あわせて、調査したURI、指定管理者名(あれば)、条例等(見付けられれば)を参考データとして記録。

より視覚的に理解して戴きやすいよう配慮したグラフと共に、実際のエクセルデータはWGのwebsiteにて公開する[3]が、ここでは表1を使って先に調査方法3)で上げた各項目を示すにとどめる。集計を終えてみて、筆者(福澄)自身、廃止の施設が思いのほか多

表1 東日本の施設調査結果

各項目の標記の意味は、本文中を参照のこと。

県名	件数	既に	新規	指定	存続	休止
北海道	22	13.6	0.0	4.6	18.2	0.0
青森	6	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0
岩手	5	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0
宮城	3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
秋田	5	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
山形	7	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0
福島	8	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0
茨城	7	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0
栃木	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
群馬	9	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0
埼玉	27	22.2	0.0	29.6	0.0	0.0
千葉	19	10.5	0.0	10.5	0.0	0.0
東京	35	28.6	0.0	5.7	0.0	0.0
神奈川	11	18.2	9.1	9.1	9.1	0.0
新潟	11	27.3	0.0	18.2	0.0	0.0
富山	3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
石川	6	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
福井*	4	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0
山梨	3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
長野	13	15.4	0.0	15.4	0.0	0.0
岐阜	9	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
静岡	13	23.1	0.0	7.7	7.7	0.0
東日本合計	215	20.0	0.9	14.9	4.7	0.5

\*福井県は西日本の調査対象とも重なっており、両地域での調査法の比較の指標となりうる

いことに驚かされた。今回基とした 2010 年の資料の時点で、既に 1/5 の施設が廃止・休止されている。都道府県ごとに詳しく見ても、いくつかの県では 0 であるものの、殆どの都道府県が、ただ廃止になったものがある、というだけでなく「全施設数に対しかなりの割合での」廃止・休止館を抱えている。一方で複数の館が統合された事案も含め、新たな施設として存続されているものはごく少数に限られている。なお、この表で『休止』の施設が少ない（1 件のみ）のは『そういう事実が少ない』のではなく、廃止とは違って休止は外部や遠方からは把握しにくいことを反映している。このことは福澄の招待講演でも指摘した[2]が、ここで改めて、読者の皆さまにも近隣でそのような情報を見聞きした際にはWG宛ご報告戴くようご協力お願いする（記事末の福澄電子メールアドレスで構わない）。

指定管理者制度への移行は、昨今の傾向を反映して増えてきていることがうかがえる。但し、その移行が施設存続にとってプラスに働くかマイナスに働くかは、ここで安直に指摘することを現時点では差し控えたい。指定管理者制度の存続への影響は、今後のWGでの検討・考察課題、宿題とする。

#### 4. おわりに ～第1回の結びに替えて～

生涯学習施設支援WGの纏めの報告の一環として連載記事を始め、先ずはWGの概要とこれまでの調査結果の内「東日本の施設の変遷の記録」につきご紹介した。次号では西日本のデータ、その他につき報告したい。

今後の記事執筆にあたっては、投稿前に一旦会員メーリングリストに流し、会員の皆さ

まの意見・助言も反映した形で、「最終報告書」としても充実した記事にしていきたい、と考えている。皆さまのご協力をお願いする。

文末となってしまったが、『休止（や廃止）の情報』を得た時は、不確かな段階でも構わないので、是非我われWGまでお知らせ戴けますよう、再度呼び掛けて、連載記事第1回の筆を置くこととする。

#### 文 献

- [1] 福澄孝博ら（2014）「生涯学習施設支援ワーキンググループ」の活動紹介，第28回天文教育研究会集録，43。  
この他にも福澄・WGの共同発表名義で、「日本公開天文台協会第9回全国大会」「天文教育普及研究会関西支部会」（共に2014年）でも発表した。
- [2] 福澄孝博（2015）「社会教育施設の現状分析とこれから ～我々には何ができるか～」，第29回天文教育研究会集録，43。
- [3] <http://tenkyo.net/wp/activity/wg/>